「臨時的代替方法」、「ＯＪＴ等を想定した演習」及び「補講」の具体的内容に関する説明

１．臨時的代替方法

（１） 以下の表（「臨時的代替方法」の対象科目及び時間数の一覧）のとおり全項目・科目について、通常、講義及び演習を実施する部分を担当講師が作成したテキスト学習及び通信課題レポート形式で実施します。

科目名	時間数
3(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5
7(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5
9(1)介護の基本的な考え方	3
9(4)生活と家事	3
9(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3.75
9(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3.75
9(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3.75
9(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3.75
9(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3.75
9(11)睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3.75
9(13)介護過程の基礎的理解	3
9(14)総合生活支援技術演習	3
10(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2
計	39.5

（２）受講生には別紙「臨時的代替方法（課題レポート）の履修スケジュール及び各科目の担当講師名」のとおり、課題に取り組んでいただく予定です。

（３）課題実施の流れ

① 科目ごとにテキストの該当ページを読み込みます。
② 習熟度確認のため、課題レポートに取り組みます。
③ 受講生からの質問は受講生の質問は、実技演習日または下記のメール・電話・ＦＡＸ等で受付け、担当講師より実技演習日当日または受付後３日以内を目安に回答します。
　メールアドレス：sougou-fukushi@pal.or.jp
　電話：03-6233-7473
　FAX：03-3232-6536
④ 受講生は研修日にテキストの熟読及び課題レポートに取り組み、電子メール及び提出用封筒での郵送により、提出期限までに課題レポートを提出し、担当講師が採点及び添削を行います。
⑤ 受講生へのサポート
- 課題レポートの問題および回答用紙等の一式を開講日の前日を目安に送付します。
- 教材到着の確認連絡を行います。
- 課題レポートの提出が遅れ、不合格（70 点未満）の科目があった受講生に対しては、個別に電話・メール・FAX によるサポートを行い、レポート課題にきちんと取り組んだうえで、スクーリングに参加できるようサポートします。

（４）振り返りについて

これまで学んできたカリキュラムのなかで最も重要な内容であり、且つ就業への備えにもつながる「介護の基本的な考え方・その姿勢を意味する 4 つの理念」、「多職種からなるチームケアの意義」、「認知症ケアの理念」等についてレポート課題に取り組んでいただきます。

（研修で学んだことを再確認し、介護事業所に就職後も専門職という高い倫理感を持ちながら、誠実に介護サービスが提供できるようにすることが目的です。）

その内容を講師が確認し、個々の理解度に合わせてフィードバックいたします。また、必要に応じて電話やメール、web 会議ツール等も活用しながら、充実した学びになるようサポートします。

（５）修了評価試験について
・新型コロナウイルス感染防止の観点から、試験会場では感染予防対応を行い受験していただきます。

２.「OJT を想定した演習」及び「補講」の具体的な内容

（１） 実技演習を行う科目（項目 9(6)～(11)、及び(13)、(14)について、「OJT を想定した演習」及び「補講」の内容を含めて実施します。実施予定は要領別記第 3 号の 4 様式「通学研修分日程表」のとおりです。
（２） 「睡眠」「整容」「食事」「移動・移乗」「排泄」「入浴、清潔保持」に関し、介助の実際を学ぶ実技演習を行います。
（３） テキストで学習したことについて、講師の現場経験に基づくエピソード等を知ることによって、さらに具体的にイメージできるように働きかけます。

以上